

地域の農業環境を守りたい 自分の農業に責任を持ち頑張る

輝くみらい人

黒石基幹支店山形支店管内
渡辺 優希さん (24歳)

東京農業大学で学ぶうちに「日本の農業のためになることがしたい」と思い、平成29年4月に就農した渡辺さん。技術を学びながら、一人前の農業経営者を目指す。大学ではカシスやブルーベリーを栽培しながら研究した。その経験から、カシスやブルーベリーは作業が少なく栽培しやすい作物と判断し、就農後苗木を植えた。「りんごの摘果が一段落する8月頃に収穫できる。栄養価も高いので、健康志向ブームの中、需要も期待できる」と笑顔だ。

就農して、栽培技術だけでなく、経営についても学ぶ必要があると実感する。「農業簿記を学び、経営を考えていきたい。また、農産物を消費者に伝えるため情報発信する必要もあり、農業にはマルチな行動力が求められる。大変ではあるが、農業はやりがいがある」と話した。

今後の目標について、「機械整備や栽培技術などを磨き、一人の農業者として評価されるようになりたい。農家が減っている中、今後は地域で農地を支える面もあるかもしれない。農業には多面的な機能があるため、自分の責任を持ち頑張りたい」と意気込みをみせた。



◎プロフィール=
わたなべ・ゆうき

家族構成
父、母、祖母、妹

栽培品目
りんご、ブルーベリー、カシス

JAへ一言
農家が農業を持続していくために頼れる存在でいてください。